

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

経営理念「林檎を通じて世界を笑顔に」をモットーに、安心安全でおいしい林檎飴の提供により、世界中の消費者を笑顔にするとともに、林檎の価値向上による生産農家の雇用創出、各企業とのコラボによる各地域の活性化に貢献します。また、社員がやりがいをもって仕事に励むことができるよう、研修制度の実施や職場環境の充実に努めます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・廃棄物削減の取り組みによる、食品ロス及びCO ₂ 排出の影響抑制	・2026年度:廃棄量 2.4t(2023年度:概算3.6t)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・地域ロス事業プラットフォームへの参加 ・地域の学校等への食育	・2026年度までに参加 ・2026年度:実施回数48回(2023年度:20回)
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・地域でのイベント・コラボを通じた地域経済発展への貢献 ・ES調査の実施	・2026年度24回(2023年度12回) ・2026年度までに年2回実施(2023年度未実施)

<パートナーシップ>

様々な企業や学校との連携のもと、イベントとのコラボや保育園等への食育、移動販売等を通じて、SDGs達成に貢献します。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。